

ほほえみ通信 第48号

平成30年7月発行

グループホーム くりの

始良郡湧水町米永 181-1

基本理念

このホームが、あなたにとって
最高の我が家となりますように
私たちが あなたにとって
真の家族となれますように

活動目標

今日も一日 笑顔で
ありがとうの心が通い合う
地域社会の人々と共に
楽しい暮らしを目指します

こいのぼり見学



手作り弁当

デート中?

こいぼり

こいぼり

梅ちぎり



たくさん採れたヨロ

私は「コトク」

アノコにあるよ

笑顔の1年になりはすうい

白寿のお祝い

伊地知 敦子様
99歳



栗野中学校福祉体験



ドライヤーかけ

合唱

いい気持ち

七夕かざり

カレーライスの野菜切り

また来てね

日常生活

天気の良い日はお外で茶話会です。



ココのコーヒーうまい!!

ひとりにしないで

とうすく出来るよ

楽しい時間をすごしました

スタッフの一言

私がホームに就任して1年半になります。当初は介護を除き、全てが初体験の仕事で戸惑うことしきりの毎日。ですが、社長・施設長には気軽に指導を仰ぐことが出来ましたし、協力してくれる(指導もあり)スタッフにも恵まれ、現在に至っています。何より入所者の皆様の「ありがとう」「ごめんね」の言葉に元気を頂いています。グループホームの良さを感じた一つに、入所者様と触れ合う、関わり合う事の多さがあります。ある方が病院で一ヶ月程の治療・療養を終え、ホームに帰園された際、付き添った職員が「(ホームに)戻って来ましたよ」の声かけをしますと「戻って来たの」と涙を流して喜ばれ、私達のお帰りなさいの声かけに満面の笑顔を見せて下さいました。信頼関係・馴染みの関係を築くことの大切さを痛感したひとときでした。入所者の皆様は一人一人輝かしい経験・経歴をお持ちです。皆様方の余生に関われる事は貴重な経験であると同時にその責任は重大です。年齢を重ねる毎に心や身体に不安を抱かれる事も多くなられるかと思われまます。皆様の「思い」や「望む暮らし」に沿ったプランで自立支援に向けての援助を行い、皆様笑顔で過ごして頂ける様、日々、研鑽を積んでゆきたいと思ひます。今後共、どうぞ宜しくお願い致します。

管理者 坂下 良子